

# 1 億 7000 万円プレイヤーの ナンパ術

フクイレン  
相沢 蓮也

## 著作権に関する注意

『1億7000万円プレイヤーのナンバ術』（以下、本書と表記する。）の著作権は相沢蓮也にあります。

- ・ 本書のすべての内容は、日本の著作権法、及び国際条約によって保護されています。
- ・ 相沢蓮也が事前に書面をもって許可した場合を除き、本書の一部、または全部を、あらゆるデータ蓄積手段（印刷物、電子ファイル、ビデオ、テープレコーダー等）により複製、流用、転載、転売することを固く禁じます。
- ・ 著作権の侵害につきましては、著作権法第119条などの罰則がありますのでご注意ください。

第119条 次の各号のいずれかに該当する者は、5年以下の懲役若しくは500万円以下の罰金に処し、またはこれを併科する。

1. 著作者人格権、著作権、出版権、実演家人格権又は著作隣接権を侵害した者（第30条第1項（第102条第1項において準用する場合を含む。）に定める私的使用の目的をもって自ら著作物若しくは実演等の複製を行った者、第113条第3項の規定により著作者人格権、著作権、実演家人格権若しくは著作隣接権（同条第4項の規定により著作隣接権とみなされる権利を含む。第120条の2第3号において同じ。）を侵害する行為とみなされる行為を行った者、または第113条第5項の規定により著作権若しくは著作隣接権を侵害する行為とみなされる行為を行った者を除く。）
2. 営利を目的として、第30条第1項第1号に規定する自動複製機器を著作権、出版権または著作隣接権の侵害となる著作物または実演等の複製に使用させた者。

# 本書の使用に関する同意書

本同意書は、本書を閲覧した個人または法人（以下、甲と称す）と相沢蓮也（以下、乙を称す）との間で、本書の使用に関する一切の關係に適用します。

本書を甲が受け取り、パッケージを開封した場合には、本同意書に記載されたすべての事項に同意したものとみなします。

## 第1条（本同意書の目的）

甲は、本同意書に基づき、乙が著作権を有する本書に含まれる情報（ノウハウ、テクニック等）を使用することができます。

## 第2条（知的財産侵害の禁止）

甲は、本書に関するすべての知的財産権が乙に帰属することを承諾し、その権利を侵害しないことを約します。甲は、乙の書面による事前許可が得られない場合は、以下の行為を行ってはけません。特に本書を他者に貸与、譲渡、販売、公開することを固く禁じます。甲は、自らの事業、所属する会社及び関連組織（販売店、代理店等）においてのみ、本書に関する情報を使用できるものとします。

- （1）本書の複製、転写、転載、改ざん、部分使用
- （2）本書の内容の一部または全部に関する出版、講演、広報活動
- （3）本書の内容に関して取材を受ける行為
- （4）本書の内容に関して不特定多数人に告知する行為
- （5）その他、前各号に該当するおそれのある行為、またはこれに類する行為

## 第3条（損害賠償）

甲が本同意書の第2条に違反した場合、甲は乙に対し、その違約金として、違反件数と販売価格を乗じたものの10倍の金額を払うものとします。また、甲が本同意書に反した行為、または不正、違法な行為によって乙に損害を与えた場合は、甲は乙に対し損害賠償の請求を行うことができるものとします。

## 第4条（責任の範囲）

乙は、甲に対し、本書の情報の使用により発生した一切の損害について責任を負わないものとし、損害賠償の義務もないものとします。

## 第5条（本同意書の変更）

乙は、本同意書の内容をいつでも変更、追加、削除できるものとし、文書、電子メールによるお知らせなど乙が適当と考える方法により甲に通知します。本同意書の内容の変更がなされたことの通知を甲が受け取った後に、甲が本書の使用を継続する場合は、本同意書の変更を承諾したものとみなします。

## 第6条（裁判管轄）

本同意書に関して訴訟の必要が生じた場合には、乙の所在地を管轄する地方裁判所を第一審の管轄裁判所とします。

こんにちは。

恋愛コンサルタントの、相沢です。

毎日毎日、たくさんの恋愛相談を受ける  
なかで、最近1つ、確信したことがあります。

どうして、みんなは、高額な恋愛商材を  
購入するのか？

1度、冷静に、考えて欲しいんですよ。

「オナナの口説き方」について、1万円とか  
2万円とか出すんですよ。

やっぱり、ちょっと普通じゃない、  
と思いませんか？

友達に聞いてみてください。  
親や兄弟に聞いてみてください。

『オナナ友達をジワジワと性奴隷に  
仕立て上げる方法』

っていう恋愛商材が売っててさ、  
それを、1万9800円で買ったのさ」

って。

たぶん正気を疑われますよね（笑）

母親に話したらマジで泣かれると  
思いますし、父親に話したら、  
ぶん殴られます（汗

でもオレ達は、そういう  
『普通じゃない商品』

に対して  
『普通じゃない金額』

を支払います。

なぜ？

なぜなんでしょう？

もちろん、

- ・ 今まで女性に恵まれてこなかった
- ・ 恋愛というステージで、プライドをスタスタにされた
- ・ モテない自分、好みの女性の前で固まってしまう自分が許せない。
- ・ 女性に対する自意識が、苦しくて苦しくて仕方がない

- ・理想の彼女で、自分の人生を満たしたい

- ・恋愛結婚がしたい

それぞれに、それぞれの理由があると思います。

でもそれって、「オス」として生まれた以上、  
おそらく99パーセントの男が抱える悩みですよ。

にも関わらず、

- ・あなたは恋愛教材を購入して、

- ・あなたの友人は恋愛教材を購入しない。

この違いは何なのか？

...

...

...

...

その答えはたぶん、

**恋愛において、一発逆転を狙っている**

かどうか。

この差だと思うんです。

スポーツや勉強と同じで、恋愛だって  
毎日の積み重ねでしかない。

こんな事実是谁だって知っています。

練習量が多いやつが勝つに決まっています。

「顔」とか「お金」とか「肩書」が言い訳である  
ことなんて、今さというまでもありません。

結局は、世の中の全てのスキルは、

- ・時間

と

- ・エネルギー

を積み重ねて、やっと獲得するものである。

本当にもう、そんなことは誰だって  
分かりきっているんです。

でも…

それでも…

やっぱり、

**一発逆転したい！！**

じゃないですか。

毎日毎日、勉強と仕事に追われて。

会社の付き合いで、飲みたくもない酒  
を飲まされて。

上司から怒られ、部下から陰口をたたかれ。  
奥さんからは愚痴を言われて。

少ないお金、少ない時間を必死にやりくり  
しながら、新人の女の子や街ゆく女子大生、

スターバックスやコンビニの可愛い店員  
に憧れるだけの毎日。

うんざりですね？

本気で自分が好きになった女性は  
全く自分には興味を持ってくれない。

いけすかない男に、いつも美味しいところを  
持って行かれる時の敗北感。

くりかえします。

うんざりですよね??

練習と積み重ねが大切なことくらい、  
みんな、知っているんです。

でも、そんな時間の余裕も、お金の余裕も、  
心の余裕も、今さら持ち合わせちゃあ  
いないんですよ。

だからオレたちは

**一発逆転しなきゃ、ならないんです！**

ドラゴンボールって見てましたか？

少年ジャンプに連載されていた、  
いわずもがな、の超大ヒット漫画です。

その中で、「セル」っていう、圧倒的に各上の  
相手と戦うために、どうしても短期間で  
パワーアップしなきゃならなくなった。

本来、パワーアップには長い時間を掛けた、  
修行の積み重ねが必要なわけですが、

その「積み重ねる時間」を持つことが  
許されない状況で、主人公達は、

- ・一発逆転

の必要に迫られました。

そこで入ったのが、

「精神と時の部屋」

という場所です。

ここでは、

- ・気温がマイナス 40 度～50 度
- ・空気は地球上の 4 分の 1
- ・重力が地球の 10 倍

という、まあ、どう考えても凡人が  
入ったら死んでしまうような環境。

しかも、この部屋の1日は、地球時間の  
365日に相当する。

主人公はここで修業することによって、  
本来、不可能であるはずの

・一発逆転

を成し得たわけです。

もうお分かりですね？

- 1、恋愛教材を買うのは、最高のオンナを  
手に入れることが目的である
- 2、最高のオンナはあまりにも強すぎるため、  
今のあなたが普通に戦ったのでは勝てない
- 3、しかしあなたには、コツコツと時間と  
エネルギーを費やして「修行する」  
ような時間も、心の余裕も無い。
- 4、ならば、「精神と時の部屋」のような通常では死んで  
しまうような過酷な環境でトレーニングするのが  
一発逆転への最短距離

じゃあ、現実世界における「精神と時の部屋」  
とは何か？

それが、

**ナンパ**

なんです。

・ナンパとは、恋愛における最初にして最後の答え

だと考えます。

実際にやってみると分かりますが、  
本当に、ナンパは厳しいです。

ナンパについて、理屈を色々と言う奴ら、  
知ったふうな口をきくヤツらはゴマンと  
いますが、

本当にナンパは厳しいし、

特に、最初は辛い

女性からの、無視や、「低俗な虫けら」を  
見るような、あの、まなざし。

冬場の風邪が必要以上に身にしみますし、  
夏のクラクラとした暑さがこたえます。

まさに、気温、マイナス 40 度～50 度  
の世界です。

失敗するたびに、息苦しくなってきた、  
ハァハァ息切れをします。  
空気が4分の1くらいに、薄く、感じます。

合コンやお見合いパーティーに行く時に  
くらべれば、家を出るときの気持ちの  
重たさ、体の重たさときたら、まさに10倍。

でも、その代わりに、そこで得られる  
経験値と大きな結果は、

・1日で365日ぶん

です。

まさに、ナンパ＝精神と時の部屋  
なんですよ。

それに、ナンパ初心者のみなさんに  
共通した「ある誤解」があります。

ナンパは最初、メチャクチャ苦しいです。  
辛いです。  
大変です。

でも、難しくはないんです。

よく勘違いしている人を見かけますが、

大変であることと、難しいということは、  
全くの別物です。

大変だけれども、スキルとしてはむしろ、  
非常に簡単な部類に入ります。

他の出会いに比べると、「最初」が極端  
に苦しくて大変だが、

技術としては、圧倒的に簡単である。

これが、ナンパ。

そして、本来1000倍くるしいところを、  
10倍の苦しさまで軽減すること、

が、オレの仕事だと考えています。

まずは、次の音声を聞いてください。

これから紹介するのは、ある男の、  
日常のナンパ風景です。

彼は常時、自分のナンパを録音して、  
後から聞き直し、良かった点、悪かった点  
を反省し、自分を次のステージに上げることを  
習慣としています。

これから聞いてもらう音声は、彼がナンパを  
開始してから、わずか30分でセックスフレンド  
を発掘したときのもの。

彼は普段、スカウトとナンパを両方やっていて、  
この音声は、気にいったコを見つけた時点で  
完全なナンパに切り替えています。

よって、純粋なナンパというよりは、  
お金もうけの片手間で、

といった感じです。

たぶん、最初から目的を「ナンパ1本」に  
絞れば、もっと効率よく、成果があがるはず  
なのですが、

彼の信念として、

- ・ お金を稼ぎながら、

・本当に好みのコだけとセックスしたい

というのがあるため、このようなスタイルを取っています。

やらせ無し。本当にリアルの彼を、1 番最初に紹介したかったため、とりあえず、

彼のトレーニング用の音声を公開することとしました。

音声のダウンロードは↓から（18分15秒）  
<http://www.goukon-go.com/ren/ren1.zip>

以下の音声解説を読みながら、聞いてください。

## ● 音声解説-----

### ■ 00:00～03:43

1 組目：人待ち風の3人組。

全員20才前後くらいで、1人可愛い子がいたので声を掛ける。  
良く喋る子ではなくて、後半で名刺を渡した子が狙い。  
名刺渡しのみ。

■ 03:44～04:15

2組目：21才くらいのかなりオシャレな子（1人）

完全無視。表情も全く変わらなかったなので深追いせず。

※「K」というのは、「完全無視＝空振り」の意味です。

■ 04:16～05:37

3組目：23才くらいのOL風キレイ目（1人）

「実家なんで」「約束が」といった感じで、笑顔の反応はあるが、急いでいる感じだったので名刺渡しのみ。

■ 05:38～08:11

4組目：23～25才くらいのOL風5人組

グループに声を掛けると、とりあえず会話が成立しやすいので自分の中でモチベーションやテンポ・リズムを維持するために成果よりも「楽しい会話」を目的で声を掛けています。成果無し。

※「ファール」というのは、「会話は成立したが、名刺受取りは無し」の意味です。

■ 08:12～18:15

5組目：身長168・22才

スラッとしたモデル体型で好みだったので、ナンパに切り替え。

話しながらコンビニまで付いて行き、タバコを買ってあげる。

買ってあげたタバコを貰って一緒に吸いつつ、番号ゲットに向けて粘り。

☆番号ゲット☆

---

いかがでしたか？

短い音声の中にですが、かなり重要な  
会話の「切り返し」や、「オファー」が  
含まれています。

その1つ1つの意味に関しては、後々  
詳しく解説してゆきますが、実は今回、

あなたに最も押さえて欲しいポイント  
は別にあります。

それは何か？

...

...

彼の

**話し方の雰囲気・ノリ・テンション**

です。

淡々と、でも明るく楽しげなテンションが  
ずっと続きましたよね。

よく、  
「ナンパでどんな会話をすればいいんですか？」

って聞かれるんですが、その質問は  
本質的ではありません。

試しに、彼に、同じ質問をしました。

「ナンパの時、どんな会話をしているんですか？」

って。

彼の答えは、こう。

「……普通ですよ……」

そして、こうも言います

「ナンパが出来ない人って、そうやって、  
〇〇の時はどうしよう、〇〇の時は  
何て応えよう、って考え過ぎてるんです。

色々と考え過ぎていて、だから逆に、  
思考が停止してしまうんですよ」

と。

なるほどな、と思います。

メラビアンの法則によると、  
コミュニケーションの93パーセントは、  
言葉意外の部分で成立している、

というのは有名な話ですね。

どんなに、  
「アレを言おう、コレを言おう」

と考え、決めたところで、それはわずか  
7パーセントのお話。

どうしたって、見た目の雰囲気や、声のトーン  
ノリ、の部分ほどの影響力は持たないんです。

そういう意味で、最初に、彼の一番自然な  
状態でのナンパ音声を聞いてもらいました。

これからは、  
「何て言えばいいんですか？」

ではなく、  
「どんな言い方をすればいいんですか？」

と、質問の切り口を変えてください。  
それが、正しい質問です。

本物の実録音声を聞いてもらった

ところで、じゃあ、「彼」が何者なのか、  
ご紹介します。

彼の名は

フクイレン（福井廉）さん。

オレも仕事から、随分沢山のナンパ師と  
出会ってきましたが、レンさんはその中  
でも群を抜いて一流です。

レンさんの生き様というのも非常に  
面白く、

マジで首つり自殺をしていたり、

昔はデリヘルの経営をしていたり、

防刃チョッキを着た暴漢に、家を壊されたり、

チャットビジネスで、2883 万円売り上げたり、  
1297 万円を女の子に稼がせたり、

離婚して、超多額の慰謝料を支払っていたり、

鬱状態で家に引きこもって、貯金を  
使い果たしてしまったり、

レンインターナショナル株式会社  
という、アメリカに本社を持つ、  
海外法人の社長であったり、

不動産関係の営業マンをやっていた時代、  
新人のクセに、  
会社でなく『個人』を相手に1億7000万円の取引を成立させてみたり。

もう、いったい何をどう間違ったら、  
こんなドラマチックな人生になるんだ???

と、オレなんかからすると、凄すぎて  
笑っちゃうくらいに、まだまだ面白い  
エピソードが出てくる。

この辺についても、これから徐々に、  
レンさんからお話してもらおうと  
思っているんですが、

ともかく、ここまで音声を聞き、この  
レポートを読んでくれていれば、

レンさんが

**天才的なネゴシエーション能力の持ち主である**

ということは納得できるかと思います。

そして、ナンパというのは、言ってしまえば、

路上で女のコと『デート』とか『セックス』とかを  
ネゴシエイト（交渉）するもの、

です。

そこで今回、オレは、

レンさんの持つ、天才的なネゴシエーション能力  
の秘密を解き明かして、

ナンパに特化させて、

あなたにも応用できるように、  
分かり易く、論理的に、伝えることにしました。

次に、ナンパの後日談を聞いてもらいます。

先ほどの音声の1番最後に、レンさんが  
完全なナンパに切り替えて、連絡先を  
交換した女性。

その後、電話→飲み→セックス

の流れを作った後、しっかりとセックスフレンド  
という関係を築きあげました。

で、レンさんの凄いところはここから先。

たぶん、ナンパしてセックスフレンドを  
作れる男っていうのは、けっこういるんですよ。

オレも、こんな仕事をしているんで、そのくらいの男  
にはザラに会っていますし、自身も、常時  
複数人、そういう関係の女性がいる状態です。

でも、その女性と

- ・ 音声対談を実現して
- ・ 何でナンパについて来たのかを聞き
- ・ しかも音声内で、その女性は自分が彼女ではない  
という事実を認めている。

ここまで出来る人間を、オレは知りません（笑）

自分の身に置き換えてみてください。

あなたが同じことをしようと  
思った場合、

- 1、ナンパで連絡先を聞く
- 2、電話に出させる
- 3、デートを成立させる
- 4、セックスする
- 5、セックスフレンドにする
- 6、セックスフレンドであることを、女性にはっきりと認識させる
- 7、なぜナンパに付いて来たのか、対談をする
- 8、対談を録音する
- 9、録音の公開を認めさせる

と、これだけの壁を越えなければなりません。

「5」までは出来るんですよ。

でも、「6」以降、出来る自信がありません…

というか、出来る人って、日本に  
どのくらいいるんだろう…

というわけで、最初の音声で番号を  
交換した女性と、セックスした後の  
対談です。

↓（31分14秒）

<http://www.goukon-go.com/ren/ren2.zip>

- ・ナンパされた時の、女性の気持ちの変化
- ・ナンパ時の清潔感、ファッションについて

- ・今までされて、嫌悪感を覚えたナンパ

等、ナンパされた本人がその心情について  
布団の中で告白してくれました。

なお、音声を聞いた後、以下の補足説明を  
読んでおいてください。

対談音声の理解が140%に深まります。

●補足-----

#### 1、「清潔感」について

女のコが「清潔感」と言った場合、  
その8割はファッションです。

(ちなみに、ファッションでない、残りの2割は、  
『肌』 かもしれません)

- ・靴が綺麗
- ・爪が綺麗
- ・髪型がちゃんとしてる
- ・服がしわしわじゃない
- ・服のサイズが合っている

で、特に男が気が付かない、もしくは  
意外と気にしないのが、

## ・服のサイズ

スーツ姿がダメというのも、ほぼ、  
シャツやジャケットのサイズが合っていない  
ことが原因です。

あと、本来、ズボンに入れて着るタイプ  
のシャツを、ズボンから出して着ていたりとか。

こういう、ファッションに分類されることも  
女のコは

「清潔感」という言葉で表現します。

だから、男は、

「よし、オレは風呂に入ってるし、下着も  
ちゃんと洗濯しているから大丈夫」

と思ってしまい、

『清潔』なんだけど、女のコから言わせると  
『清潔感』のない男

が沢山います。

女のコが言う、

## 清潔感＝ファッション

しかし、

男が思う

清潔感＝清潔か不潔か

だから、レンさんが清潔感の話を  
し始めたとき、あのコがファッション  
の話をし始めたのは、なるべくして  
なったんです。

「自分は毎日お風呂に入ってるから大丈夫」

なんて、油断しないでくださいね。

## 2、この女性のしゃべり方について

ここまで読んだら、もう1度だけ、この女性  
のしゃべり方について、注意深く耳を傾けて  
みてください。

この女性、自分の意見や感想を述べた直後に、

「ンフフフフ」

「ンハハハハ」

という、

・曖昧な薄ら笑い

をしていますよね。

日本人は特に、自信が無い時に  
こういう笑い方をしてしまいます。

音声でインタビューに答えてくれた女性は、  
レンさんが突然お願いしたらしく、心の準備も  
出来ず、かなり緊張していたとのこと。

これも、「一時的に」自信が無い状態に  
陥っていたと言えます。

そして、ここであなた自身、わが身を  
振り返って欲しいんですが、

もしかして、あなたは同じような  
「曖昧な薄ら笑い」をしてませんよね??

ということです。

実は、この手の薄ら笑いをする日本人男性  
ってすごく多いんです。

特に、緊張している時。

普段はこの「薄ら笑い」をしない男性も、  
営業とか、本当に好みの女性の前に立つと、  
急に、会話の節々で、こいつをやってしまいます。

これが、外国人の前に立った時、そしてその  
日本人が外国人の英語とかに緊張してしまった時。

そういう時も、出ます。

俗に言う、  
「ジャパニーズスマイル」

ってヤツです。

そして、断言できるんですが、

女性の前でこういう「薄ら笑い」をしてしまう  
男性はモテません。

女性は直感的に、そこに、「オス」としての  
弱さを感じとります。

瞬時に、「男として無し」の判定を下します。

そして恐ろしいことに、ほとんどの  
日本人男性は、これを自覚していません。

オレの所に恋愛相談に来る男で、「イケメン」  
は決まってこの「薄ら笑い」をします。

「ンフフフ」

「ンハハハハ」

って感じに。

だから、すごいイケメンでもモテない。

そして、悩むんです。

ちなみに、こういう「薄ら笑い」って  
「弱さ」を示すので、女性にとっては  
それほどマイナス要素にはならないんです。

女同士だとまた、少し違ってきますが、  
少なくとも、男に対しては、さして  
マイナスポイントとはなり得ない。

が、やはり、「弱さ」を伝えちゃうので。

**男にとっては非常に、マイナスです。**

気を付けて下さい。

最後に、レンさんが女性をホテルに

連れ込むまでと、ホテルの中で、セックス  
までの雰囲気、流れをつくるまで、

の実録を公開します。

もちろん、この音声も女性から許可を取っております。

しかも恐ろしいことに、セックスのシーン  
までも録音しております（笑）

全部公開しても意味が無いので、挿入した  
ところで音声はカットしてありますが。

本当にもう、どんだけ高度なネゴシエーション  
能力の持ち主なんだっ！！

と突っ込むしかないのですが（汗

- 1、ホテルへの誘い方が分からない
- 2、部屋に入った後、どうやってセックスの雰囲気に持ち込んでいいか分からない

という相談が多いため、レンさんと相談して、  
これも公開することに決めました。

本編は大きく、3つのシーンに別れます。

シーン1：00分00秒～03分50秒-----

食事をしてから、店を出る～ホテルに連れ込むまで

「どうやってホテルに誘うんですか？」

と、よく聞かれますが、

「それが当然のように入る」

が答えです。

音声を聞き、その「それが当然だろ」

という雰囲気を感じてください。

シーン2：03分50秒～19分00秒-----

ホテルに入ってから女性との会話

これを読んでくれている大半の人にとって、

直接参考になる点はないかもしれません。

編集でカットしようかな、とも思ったんですが、

レンさんのデリヘル経営時代のかなりハーレム

でやりまくりの思い出話とか、

ライブチャットサイトで、すぐにアソコを見せたがる、

中国の美女のお話とか、

その他、もろもろ、面白かったので、編集で

カットせずに残しました。

シーン3：19分00秒～-----

徐々にエロいムードを作ってからセックス終了まで

理屈では、

「エロい話をしながら」

とか

「じょじょにイチャイチャしながら」

とか

「小さな笑いを混ぜつつ、様々な角度から」

とか、

聞いたことあると思うんですが、その見本。

実践例です。

ホテルには入ったものの、この女性はレンさんの彼女ではないわけで、最初、何度かセックスの流れを否定しています。

よくあることですが…

こういった女性の軽い否定を、いかに切り崩してゆくのか。

その流れを感じとってください。

-----

音声は↓から（40分09秒）

<http://www.goukon-go.com/ren/ren3.zip>

音声の書き下ろしは以下です。↓

●以下、音声の1部、書き下ろし-----

■ 食事をしてから、店を出る～ホテルに連れ込むまで

00分00秒～03分50秒

食事をして、とりあえず店を出る。

行き先は決まっていないが、実はホテルに行こうと思っている。

とりあえず適当に散歩する。

レン「暖かいところ行きたいな～」

女「あったかいところ・・・」

レン「温泉とか」

女「温泉（笑）。今から温泉？」

駅の近くをぐるっと回り、ホテルの前に出る。（予定通り）

レン「暖かい所あるじゃん」（ホテルを指差す）

女「あったかいところ（笑）・・・え～（笑）」

レン「今日急いでんの？」

女「急いではないけど・・・」

ホテルの入り口に向かって行く

女「え、ちょっと、行くの？」

レン「うん」

女「なんで!？」

レン「暖まりに」

女「なにそれ（笑）」

ホテルの入り口をくぐる

女「まじで？」

レン「マジでマジで」

女「マジマジって・・・」

## ■ ホテルに入ってから女性との会話

03分50秒～19分00秒

\*所々「ピー音」が入ります。

■ 徐々にエロいムードを作ってからセックス終了まで  
19分00秒～

女「何触ってんの急に（笑）」

レン「いや何かちょっと触り心地良さそうな物があると思って」

女「だからって触るの？（笑）」

レン「てかさー、何カップ？ 聞いたっけ？」

女「うん」

レン「何カップ？」

女「・・・G」

レン「G！？」

女「うん」

レン「・・・ABCDEFGG・・・巨乳！？」

女「（笑）知らない」

レン「世間的に言うと巨乳だよな？」

女「そうだね」

レン「巨乳だよね」

女「世間的にはね」

レン「オレ何て言うの、巨乳マニアじゃないから」

女「知ってる」

レン「あんまり食べ付かないんだけど、喜ぶ人はすごい喜ぶよね」

女「そうだね」

レン「すごい居たでしょ？ そういう人」

女「居たね」

レン「お前の乳が好きなんだ、みたいな」

女「お前の乳が好きなんだって言う人はいなかったけど」

レン「そこまで露骨な人はいなかった？」

女「うん・・・」

レン「でも分かるでしょ？ あ、この人おっぱい好きなんだな、みたいな」

女「あ、だから、それで指名してくる人とかもいる」

\*この女性はライブチャットをやっていて、  
そこでの指名の話です。

レン「(笑)」

女「あの、あそこにプロフィール載ってるじゃない？」

レン「あ、サイズとか載ってんだ」

女「載ってる載ってる」

レン「いくつなの？ 何センチなの？」

女「一応、98」

レン「98なの！？ そんなあるんだ！？ すごいね(笑)」

女「だから、それ目的で見に来る人がいて、結構」

レン「うん」

女「そうそう、で、本当、好きな人は好きだから、何か、すごい言われる。

見して見して見してとか言って。ヤダとか言って。ヤダヤダヤダって」

レン「・・・Gかぁ、オレは今まで無いな、たぶん。Gカップまでは。

確か・・・Fの子は居たけど、Gは無いな。

Fの子も、何か、もっとポッチャリしてたもん」

女「ポッチャリしてるよ、結構」

レン「あでも、あれか、身長高いからか」

女「かもしれない」

レン「何て言うの、その子は、デブじゃないけど、どっちかっていうと

ちょっとポッチャリっぽいついていうか、太ってはいないけど・・・

おっぱいも大きいけど、まあ何となく全体的に」

女「全体的に大きい？」

レン「大きいとまでは言わないけど、まあ、ふくよかって言うか」

女「うん」

レン「そういう感じじゃ無いよね」

女「・・・そう？ うーん、自分ではちょっと、お腹が出てるかなと思うし」

レン「お腹はだから、頑張って痩せればいいじゃん」

※ 別に出てませんでした。女性は基本的に気にし過ぎですが  
軽くSっ気を出して、適当に合わせてます。

女「(笑) ね、お腹ほんとやばいコレ」

再び胸を触る

女「だからいいって、何してんのって」

レン「・・・なんだろう、物で例えると何くらいかなと思って」

女「？」

レン「何かさ、何かの物を持った時にさ、あ、これ、私のおっぱいと

同じ大きさだって思った物って何かある？」

女「無いってそんなの（笑） 無いでしょ（笑）」

レン「だってオレ、自転車のハンドルとか握った時に、あ、これ

オレのチンコの太さと一緒にだ！ って思う時あるもん」

女「嘘だよそれ！（笑） ぜったいウソ」

レン「（笑） バナナ買う時とかさ、あこれ、オレのと同じくらだな、とか」

女「ぜったいウソ（笑） ・・・ぜったいウソだよ」

レン「いろいろ頑張っちゃってんだよ」

女「あはは、なに？（笑） 何してんの？」

適当に体を触りながらキスをする

女「何をしてんの・・・」

レン「暗くする？」

女「(笑) 何で？」

照明を暗くしに行く

女「何で暗くしたの？ しないよ!？」

レン「ムード出さないと」

女「しないよ？」

レン「うん」

ベッドに行って横たわる

女「何？」

レン「お仕事終わり」

女「何で!? 何の仕事終わりなの!？」

レン「いや説明の」

女「説明の？」

レン「うん・・・疲れたよマジで」

女「あはは（笑）　ずっとヒッキーだったからね（笑）」

レン「肩とか超凝ってるし」

女「マッサージしてあげようか？」

レン「マジで？　じゃあ、軽めで」

女「軽めで」

レン「うん」

女の話になるべく聞いてあげながらセックスに持ち込む

少しだけマッサージしてもらってから押し倒す

レン「この間以来だ」

女「え～、ウソだ～」

レン「ほんとだって」

女「ぜったい誰かとしたでしょ」

レン「してないしてない」

女「ほんと～？」

レン「うん」

女「超あやしい（笑）」

いちゃつきながら、女がバイトを減らした話を聞く

レン「今（週）何日くらい？」

女「週1とか週2とか・・・多くて週3？」

レン「週3だったら普通じゃん」

女「多くて。金土の夜と、土日とか」

以前は「金、土、日の週3日バイトしてる」と言ってたので  
同じじゃねーか?? と思いつつ、どうでもいいので脱がす。

女「なんで脱がす？」

レン「触れ合いたいから」

女「触れ合ってるじゃん」

レン「人の肌には、癒す効果があるんだって」

女「あはは（笑） 勝手に、何か作ってない？」

レン「いやいや、ホントホント。あの・・・」

メルマガ書くのにさ、何て言うの、ホルモンの

アレとか、すげえ勉強してるから」

女「うん」

レン「医学的に本当にね・・・根拠がある」

女の服を脱がしつつ、自分も脱ぐ

女「そうなの？」

レン「セックスしないと、長生きできないの」

女、疑っている顔

レン「ホントホント。男は特に」

女「へえ～」

※ 本当です。

ブラの外し方がよく分からなかったので  
女に自分で脱いでもらっている

レン「ちゃんとあれだ、上下揃ってんだ。かわいいじゃん」

女「変なところ見なくていいよ」

レン「たまにさ、何か、全然違う柄だったりするとさ」

女「うん」

レン「言わないんだけどさ」

女「ちょっと嫌なの？」

レン「ちょっと、いや、嫌じゃないんだけどさ、何か

見ちゃいけない物見た気になる」

女「あ、そうなの」

レン「あ、今日あれなんだ、って」

女「何、あれって？ あれって何？」

レン「あ、何か、そのつもりじゃなかったんだ、みたいな」

女「あ〜」

レン「想定してなかったんだ」

女「想定してないでしょ・・・大概・・・するつもりだったの？」

レン「んーん」（とぼけた顔）

女「(笑) あやしいな」

ボイスレコーダーをベッドの近くに持って来る

女「何で録ってんの？ 消さない？」

レン「ん？ 消さない」

女「何で？（笑）・・・やだ」

気にしないで続ける

女「何で録ってんの？」

レン「ん？ 喜ぶ人が居るかもしれないな、と思って」

女「喜ばないよ」

気にしないで続ける

レン「これ、何だっけ？ Gカップだっけ？」

女「（笑）・・・はいはい」

レン「でもさ、今やってるところでさ、脱いでないんでしょ？」

\*ライブチャットの話

女「うん。あーでも、もうね、登録消した」

レン「辞めちゃったの？」

女「うん。辞めた」

レン「儲からないから？」

女「うん・・・疲れるし」

レン「子供がうるさいから？」

**\*バイト先のチャットルームにうるさい子供がいたらしい**

女「そうそうそう（笑） あの、社長っていうか

管理人さんの娘がうるさい、てのもあるし・・・

なんだかんだ、ちょっと、疲れてきたな、と思って」

レン「確かにね、パソコンの画面見たりすると疲れるからね」

女「そう・・・辞めようと思って。面倒くさいし」

レン「おっばい見せれば儲かったかもよ」

女「やだ」

**■セックス前、セックス中、セックス後を一定の態度で通す**

レン「ん〜、ちょっと濡れてますけど？・・・どしたの？」

女「知らない」

かなり濡れてるので音がする

レン「・・・聞こえる？ 音？」

女「(笑)・・・聞こえる・・・もうやだ(笑)」

女が体をのけ反らせる。

レン「イッた？ イッちゃった？(笑)」

女「(笑)・・・恥ずかしい」

レン「イッちゃった？(笑)」

1回イッてもさらに続けようとする

女「やだ」

レン「敏感なの？(笑)・・・優しく触るから(笑)」

女「いや・・・」

レン「イッちゃった？」

女「・・・知らない（笑）」

コンドームを探して灰皿を動かそうとしたら  
灰皿の中に水が入っていて、ボイスレコーダーに水が掛かる。

レン「うわ、また水！ まじで？（ボイスレコーダー）ぶっ壊れるじゃん」

女「何でだろうね」

レン「もうさ、灰皿置かなきゃいいじゃんね」

女「そうだよね。禁煙にしちゃえばいいのに」

レン「てかさ、あれ？ アレどこにあんの？ ゴムは？」

女「無いの？ まじで？」

レン「まさかの？」

女「まさかの？」

あちこち探す

レン「え、マジで？」

女「無い・・・無いね。・・・そんな事ってあるの？」

え、買うの？ 冷蔵庫の上？」

レン「あ、有料だ」

女「有料なの!？」

レン「うん」

女「え、普通、あるんじゃないの？」

レン「何かね『強力リンクル付き』と『イボ付き』って

2種類あるんだけど」

女「なにそれ（笑）『リンクル付き』って何？」

※『リンクル』が女にウケていたのも、以後『リンクル』を連呼

レン「わかんない『リンクル』が何だか分かんない」

女「『リンクル』が分かんない」

レン「値段は一緒なんだけど・・・どっちがいい?（笑）」

女「どっちでも・・・（笑）」

レン「『イボ』と『リンクル』」

女「いや、だって、普通の無いの?（笑）」

レン「うん。二択なの」

女「普通のっていうか、（その辺に）あるんじゃないの？」

何で無いの？ おかしくない？」

レン「買ってみるか・・・どっちが良い？」

女「わかんない（笑）」

レン「『リンクル』・・・『リンクル』 すご〜気になるんだけど」

女「わかんない（笑）」

『強カリンクル付きコンドーム』を買う

レン「2個で300円だよ」

女「高いの？ 安いなの？」

レン「いや、高いんじゃない？」

女「高いんだ」

レン「てか『リンクル』って何！？」

女「知らない・・・何？ 『リンクル』って」

レン「『強カリンクル付きコンドーム』・・・」

女「『フルーツの香り付き』って書いてある」

レン「『リンクル』って何？」

女「知らない・・・『リンクル』・・・何だろう

『リンクル（ピンク）』って書いてある（笑）」

レン「そんな、『リンクル』って普通の単語なの？（笑）」

女「わかんない（笑）」

レン「じゃちょっと、リンクル付けてみるね」

女「（笑）」

レン「んー・・・イチゴの匂いがする（笑）」

女「ほんとだ（笑）」

レン「匂い付けられてもね（笑）」

女「（笑）」

レン「『リンクル』 何だか全然わかんないんだけど」

女「何だろうね」

レン「普通・・・だよ」

女「普通だね」

レン「イチゴくさいだけで」

女「(笑)」

レン「『香り』のこと？」

女「違うと思うよ」

レン「違うよね」

女「うん・・・何だろうね」

レン「『リンクル』 気になりすぎて萎えちゃうよ」

女「(笑) なんだろう？ みたいな (笑)」

レン「まだくすぐったい？」

女「うん、ちょっと」

レン「ガマンして (笑)」

挿入

レン「『リンクル』 入りました」

女「『リンクル』 が入ったの？ (笑)」

レン「『リンクル』 入りました」

女「『レン君』じゃなくて？」

レン「うん（笑）・・・『レン君のリンクル』入りました」

女「『レン君のリンクル』入っちゃった（笑）」

\*セックス音声は省略します。

また、この後は特に会話のポイントも無いので  
解説もここまでとなります。

---

## おわりに

以上で『1億7000万円プレイヤーのナンパ術』をいったん終わります。

ここまで読んでくれて、ありがとうございました。

そういえば、1点だけ、強調しておきたいことがあります。

もしかすると、ここまで読み、音声を聞いてくれた人の中には、

「これって結局、フクイレンって人だからできるんでしょ？ そのナンパテクニックってオレらにも使えるんですか？」

って思った人、いたかもしれませんね。

その疑問について、断言しましょう。

**普通の人にとって、再現性抜群です**

いや、世のナンパ師がある種の「興味性」だけで引っ張るなか、レンさんのテクニックは、ナンパに「実用性」という観点を取り入れているぶん、

**普通の人にこそ、やって欲しい**

そう思います。

実は、最近、レンさんとナンパのコンサルをしました。

正真正銘、一切やらせ無しの、ナンパ素人をコンサルして、たったの2日間で成果を出す、

その一部始終を、テレビでドキュメンタリーの企画をやっている本物の、業界のプロに手伝ってもらい、カメラに収めました。

そして3人中、2人、2日以内に、番号ゲットと連れ出し成功です。

残り1人は残念ながら、ノロウイルスにやられてしまい、2日目欠席でしたが。。

企画の当初、正直なところ、参加者を見てちょっとお話しした段階で、

「いやぁ…こりゃ、無理だわ…」

レンさんには悪いけど、彼らをたった2日ってどんな奇跡ですか。。

う〜ん。長いコンサルになりそうだ……」

って、思ってたんです。

ところが、レンさんは、それをやってのけてしまった。

考えてみれば、ナンパを成功させる程度なら、  
何も天才になんてならなくていいですよ。

本当に、普通の人、普通に、やるべきこと  
をやればよい。

妙に天才めいた演出の「プロのナンパ師」が  
はびこる中、そんな当たり前の事実を  
思い知りました。

- ・ 普通の人

- ・ やるべきことを、やる

その具体的な方法について、これから  
音声、映像、テキスト等、あらゆる手段を使って、  
丁寧にお伝えします。

興味ある人は↓から登録してください

<https://1lejud.com/stepmail/kd.php?no=120658>

それでは、またお会いしましょう。

ナンパ音声：フクイレン  
解 説：相沢 蓮也